

HD-AHD2.0 防雨型赤外線付デイナイトオートフォーカスカメラ (電源重量型) / DC12V

MODEL IR-4552AF

〔取扱説明書〕



- 取り扱いに関する詳細は、当社 HP をご参照ください。
- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用いただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。なお本機は、事件や事故を未然に防ぐものではありませんのでご理解願います。

●表示マークについて●

 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	 禁止の行為を伝えるものです。
 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定されます。	 強制事項の内容を伝えるものです。
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> 警告</div> <div style="width: 45%;"> 注意</div> </div>	
 取付け場所などを移動するときは、必ずすべての電源を切った状態で線ははずしてから移動してください。	 内部の点検、調整、修理は販売店にご相談ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
 本製品は精密機械ですから分解したり、改造しないでください。故障の原因となります。	 設置工事による事故や障害が生じた場合は当社では責任を負えません。専門技術者による施工をご依頼するようおすすめいたします。
 電源コード類を傷つけたり加工したり、引っ張らないでください。電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。	 重いものをのせたりすると本製品が破損し、火災、感電の原因となります。
 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合はすぐに電源を切り、電源プラグを持ちコンセントから抜いてください。	 ぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

CONTENTS

■ 特長	3
■ 仕様	3
■ 各部の働き	4
■ カバー脱着方法	5
■ 取り付け方法	5
■ オートフォーカス、電動ズーム使用方法	5
■ OSDメニューの説明	6
■ 工場初期値、工場出荷設定一覧	7
■ 外形図	7
■ 使用上のご注意	8
■ お問い合わせ	8

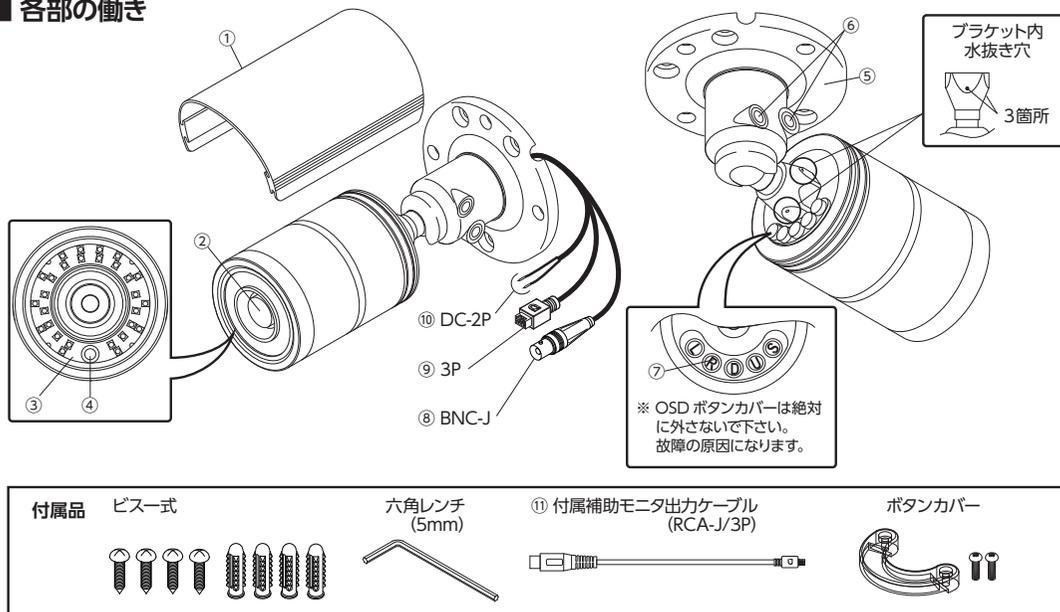
■ 特長

- UTC 機能に対応した高画質アナログカメラ
- 有効画素数 213 万画素 1945(H) × 1097(V)
- イメージセンサー 1/2.8 インチ CMOS
- 高解像度、水平解像度 1100TV 本
- 最低被写体照度 0.08 Lux F1.4 (SENSUP : 0.0008 Lux X30)
- デジタルノイズリダクション 2DNR / 3DNR
- ワンケーブル型電源・電源分離式 (DC12V) 選択可能
- オートフォーカス機能により自動的にピント調整可能
- IP66 仕様
- 3 ~ 12mm オートフォーカス、電動ズームレンズ
- ブラケットは六角ネジ 2 本で自由な角度に合わせ易く、堅牢
- 赤外線照射 30m

■ 仕様

モデル名	IR-4552AF
有効画素数	213 万画素 1945(H) × 1097(V)
映像信号方式	AHD 2.0 / NTSC
映像出力	1.0Vp-p / 75 Ω
解像度	水平 1100TV 本
S/N 比	50dB 以上
最低被写体照度	0.08 Lux F1.4 (SENSUP : 0.0008 Lux X30)
イメージセンサー	1/2.8" CMOS
同期方式	内部同期
ホワイトバランス	ATW / AWB / AWC / マニュアル / 室内 / 室外
ゲインコントロール	AGC : Level Setting (0 ~ 15)
デジタルワイドダイナミック	ON / OFF
シャープネス	オート (0 ~ 10)
モーション	OFF / ON (エリア 4 ヶ所)
プライバシー	OFF / ON (エリア 4 ヶ所)
逆光補正	OFF / BLC / HSBL
フリッカーレス	シャッター変更にて対応
デイナイト	カラー / 白 / 黒 / EXT / オート (TDN:ICR [IR カットフィルター方式])
赤外線到達距離	30m
DNR	2DNR / 3DNR
映像反転	OFF / ミラー / V-FLIP / 回転
焦点距離	3.0 ~ 12.0mm F1.4 ~ 360
オートフォーカス	オート / セミ / マニュアル
監視角度	水平 (H) 93.2 ~ 32.8°、垂直 (V) 50.0 ~ 18.4°
カメラ ID	ON (Max. 15ea / 1Line) / OFF
OSD メニュー / 言語	上、下、左、右カーソルボタン、SET ボタン / 16 言語
電源	電源重畳式専用コントローラより供給 / DC12V 自動判別
消費電流	最大 310mA (1cable) / 最大 540mA (DC12V)
動作温度 / 湿度	-10℃ ~ 50℃ / 85% 以下
外形寸法	本体 : 70(φ) × 100(D)mm ブラケット : 100(φ) × 97.5(D)mm
防水規格	IP66
重量	800g
入出力端子	映像 : BNC-J、RCA-J(MONITOR OUT) 電源 : DC - 2P (DC12V 使用時)
付属品	簡易取扱説明書、六角レンチ、モニタ出力ケーブル、ビス一式、ボタンカバー

■ 各部の働き



付属品 ビス一式



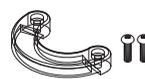
六角レンチ (5mm)



⑪ 付属補助モニタ出力ケーブル (RCA-J/3P)



ボタンカバー



- ① カバー : カメラ本体を保護します。
- ② レンズ : 被写体を各設定により捉えます。
- ③ 赤外線 LED : 赤外線 LED により真っ暗中でも被写体を映し出します。
- ④ CDS : 光を感知するセンサーで一定の明るさ以下を感知すると、赤外線 LED を点灯させます。
- ⑤ ブラケットベース : ボール取付金具や、直接壁や、天井にブラケットを固定します。
- ⑥ ブラケット調整六角ネジ : 六角ネジ (2ヶ所) を緩めるとブラケットベースとブラケット接続部が約 360°回転でき、各接続部も自由に可動出来ます。

※ 調整後は必ず各六角ネジ (2ヶ所) をしっかり締めてください。
 ※ ブラケットの各回転部を、360°以上回転させると中のケーブルを切断する恐れがありますのでご注意ください。

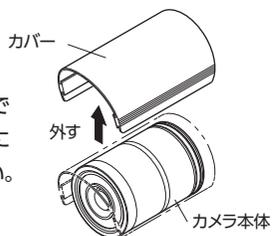
- ⑦ OSD メニュー設定ボタン (オートフォーカスポタン) : モニター上に設定メニューを表示させ、カメラの設定をするときに使用します。又、フォーカスやズームを調整する際にも使用します。
- ⑧ 映像出力端子 (BNC-J) : ワンケーブルユニット (CCU シリーズ) の接続端子 “CAMERA” 側に接続します。DC12V 電源使用時はモニタ等の映像入力に接続してください。
- ⑨ 補助モニター出力端子 (3P) : カメラの近くで画角、ピント調整等をする時に使用します。付属のモニタ出力ケーブル (RCA-J/3P) ⑪を接続すると、映像出力が NTSC モードに変更されます。 ※調整後はケーブルを外してください。

※ ケーブルを接続した時は、OSD の設定も NTSC モードとなりますので、AHD モードに関する設定は、ケーブルを抜いた状態で行ってください。
 ※ モニター以外は絶対に接続しないでください。
 ※ 調整後は雨水等が浸入しない様ビニール等で防水をしてください。

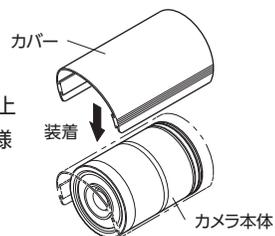
- ⑩ 電源線 (DC-2P) : DC12V 電源に接続します。
 ※ 接続後は雨水等が浸入しない様ビニール等で防水をしてください。
 ※ 重畳型の場合は接続しないでください。 ※ 併用使用はできません。
 ※ 極性に注意してください。 赤=+、黒=-
- ⑪ 付属補助モニタ出力ケーブル : カメラの画角、ピント調整時に使用します。使用方法は⑨を参照してください。

■ カバー脱着方法

外す時は、そのまま手でカメラ本体から上方向にカバーを外してください。

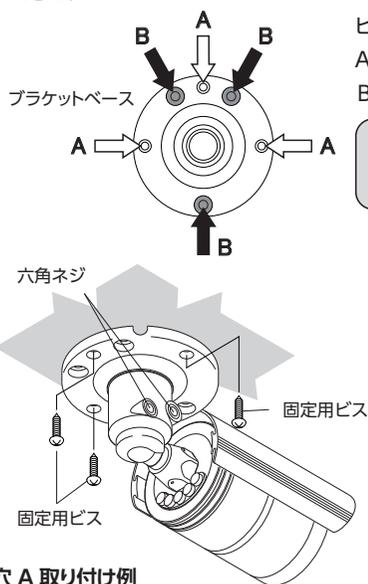


装着時は、カメラ本体の上からカバーを押しはめるようにしてください。



※ レンズの画角調整後、画角の角にカバーが映り込む場合は、カバーを後方へスライドさせて調整してください。

■ 取り付け方法



ビス穴 A 取り付け例

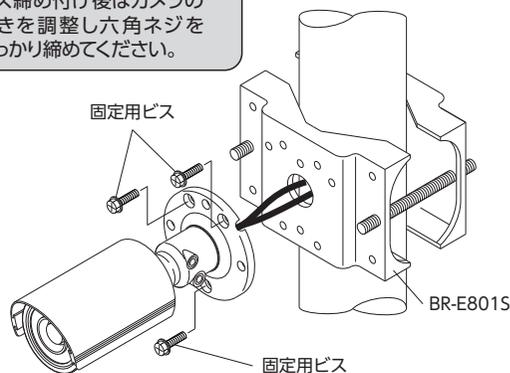
ビス穴 A は天井や壁面の取り付けに使用します。

ビス穴は2種類あります。

A : ϕ 5.5 (天井、壁面用)

B : ϕ 6.5 (天井、壁面、ポール取り付け金具、共通ビス用)

※ ビス締め付け後はカメラの向きを調整し六角ネジをしっかりと締めてください。

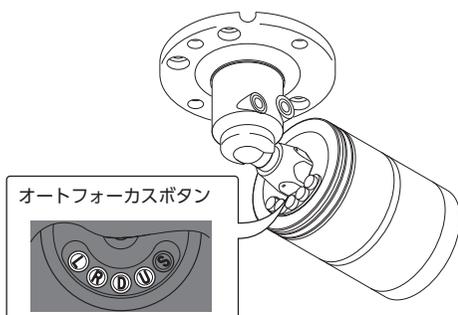


ビス穴 B 取り付け例

ポール取り付け金具 BR-E801S に取り付ける場合はビス穴 B を使用してください。固定する時は、各付属のビスを使用してください。

■ オートフォーカス、電動ズーム使用方法

メインメニューを開いていない状態で⑤を除いた OSD 設定ボタン (オートフォーカスボタン) を押すことで、フォーカス、ズームの調整が可能です。



U : ズームイン (画角が狭くなります)

D : ズームアウト (画角が広くなります)

R : 至近側に手でフォーカスを調整します。

L : 至遠側に手でフォーカスを調整します。

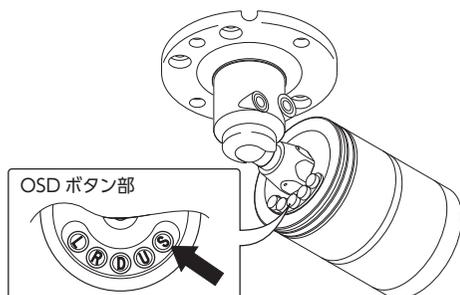
※本機の初期設定はセミオートフォーカスとなっています。ズーム動作を行うと自動でフォーカスを調整します。

■ OSDメニューの説明

メインメニュー

OSD の出荷時設定は、P7 カメラ OSD メニュー出荷時設定一覧の様になっております。
設定値を変更する場合は下記の説明をお読みください。

⑤ “SETUP” ボタンを押すとメインメニューが表示されます。



- SETUP ⑤ : メニュー画面表示、及び決定
UP ① : カーソルを上へ移動
DOWN ② : カーソルを下へ移動
RIGHT ③ : カーソルを右へ移動、数値を上げる
LEFT ④ : カーソルを左へ移動、数値を下げる

カメラの全般的な機能の設定を行いません。①②③④ボタンを使用してメニュー項目を選択してください。
項目の後ろに “↓” 表示があるものは、⑤ボタンを押すとその項目について詳細な設定メニューが表示されます。



1. レンズ : 使用するレンズを選択します。
2. 露出 : シャッター、AGC などの設定をします。
3. BACKLIGHT : バックライト (逆光補正) に関する設定を行います。
4. ホワイトバランス : 色合いに関する設定を行います。
5. DAY&NIGHT : 周囲の明るさに対する動作を設定します。
6. NR : ノイズリダクションに関する設定を行います。
7. スペシャル機能 : 動き検知、プライバシーマスクなどの項目について設定します。
8. 調整 : 画質やビデオモニタに関する設定を行います。
9. AF : オートフォーカスに関する設定を行いません。
10. 終了 : 設定を終了します。
 - 保存&終了 ⇒ 設定値を保存して OSD メニューを終了します。
 - リセット ⇒ 設定を出荷時設定に戻します。
 - 保存しない ⇒ 設定値を保存せず OSD メニューを終了します。

1. レンズ：DC、マニュアル

レンズの種類を選択します。L/R ボタンで、DC、マニュアルを選択することができます。DC は、DC 駆動自動アイリスレンズ使用時に選択します。マニュアルは、絞り固定 / 手動アイリスレンズ使用時に選択します。

◆ DC レンズ

DC を選択した時、S ボタンを押すと、DC レンズの調整画面となります。

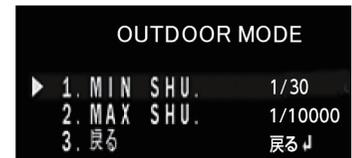
1. モード：L/R ボタンで、使用する環境を、室内または室外より選択します。
室外を選択後、S ボタンを押すと、右下のメニューが表示されます。
2. IRIS SPEED：応答速度の調整をします。設定値は、0～15 で、数値が大き
い程、応答速度が速くなります。
3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」
で、設定値を保存し設定を終了します。



◆ 室外 (OUTDOOR MODE) の設定

室外モードでは、シャッター速度を設定することができます。

1. MIN SHU：シャッター速度の MIN 値で、変更することはできません。
2. MAX SHU：シャッター速度の MAX 値の設定で、任意の値に設定できます。
設定値は、1/60、FLK、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/5000、1/10000、
1/50000 です。
3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」
で、設定値を保存し設定を終了します。



◆ マニュアル

手動アイリスレンズを使用する時に設定します。

2. 露出：シャッター、AGC、SENS-UP、明るさ、D-WDR、DEFOG

周囲条件の明るさの変化に対して、画面の明るさが一定となる様に、シャッター、AGC、SENS-UPなどを設定します。

2-1. シャッター

シャッターメニューでは、電子シャッターの速度を設定します。

- 任意の値：任意の値では、シャッター速度をお好みに合わせて設定できます。
動きの速い被写体を撮影する場合や夜間動きの少ない被写体を
ノイズの少ない状態で撮影したい場合などに有効です。
設定値は、1/30、1/60、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/5000、
1/10000、1/50000、x2、x4、x6、x8、x10、x15、x20、x25、x30 です。
- FLK：シャッター速度は 1/100 秒に固定されます。これにより垂直同期周波数
と照明の明滅の周波数の不整合による画面のちらつきを防ぐことができます。
- AUTO：シャッター速度を、カメラが自動的に最適値に設定します。



2-2. AGC

AGC (オートゲインコントロール) のレベルを設定します。シャッター値を変えずに明るさを変えることができます。
設定値は、0～15 で、数値が大きいく程、明るい画面となります。

2-3. SENS-UP：OFF、オート

画面の明るさを保つため、蓄積時間 (シャッター時間) を伸ばして被写体を明るくすることができます。

[注] 2-1. シャッターの設定が AUTO または 1/30 以外の時には、SENS-UP 設定はできません。また、
2-2. AGC の設定が、AGC=0 の時にも、SENS-UP 設定はできません。

- OFF:蓄積モードを OFF にします。
- オート

1. SENS-UP:設定値は、x2、x4、x6、x8、x10、x15、x20、x25、x30 です。
2. 戻る:この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



2-4. 明るさ

補正後の画面の明るさを設定します。設定値は、1～100 です。

2-5. D-WDR: OFF、ON、オート

D-WDR (デジタルワイドダイナミックレンジ) 機能は、暗い画面と明るい画面を処理して暗い画面を明るく、明るい画面を暗くしてちょうど良い明るさの画面を作り出して、逆光補正を行います。この逆光補正は、画面全体に対して処理を行いますが、画面のある部分のみに処理を行う場合やマスクをかける場合などは、「3. BACKLIGHT」で設定を行うことができます。

- OFF: D-WDR 機能を OFF にします。
- ON : D-WDR 機能を ON にします。

1. レベル: 暗い部分の輝度の調整をします。設定値は、0～8 で、数値が大きいほど、明るい画面となります。
2. 戻る: この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



- オート: カメラが自動的に D-WDR 機能を最適値に設定します。

2-6. DEFOG: OFF、オート

DEFOG は、霧が立ち込めて画面全体にモヤがかかった様な状態の時に、画像処理により画面を見やすくします。

- OFF : DEFOG 機能を OFF にします。
- オート: DEFOG 機能を ON にします。右図の DEFOG メニューと DEFOG 機能を実行するエリアが表示されます。

1. POS/SIZE: 画面上で、DEFOG 機能を実行するエリアを設定します。設定方法は、P10 を参照してください。
2. グラデーション: 補正をかけた場所と補正をかけていない場所の境界を滑らかに表示します。設定値は、0～2 で、数値が大きい程、滑らかになります。(補正をかけた場所の補正量が減少する方向です)
3. 初期化: 設定を初期状態に戻します。
4. 戻る: この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



3. BACKLIGHT: OFF、BLC、HSBLC

普通のカメラでは逆光の影響によりモニタ上では被写体が暗く表示されます。この問題の解決のため、BLC(Back Light Compensation: 逆光補正) 機能を使用して強いコントラストの場面を見やすく改善します。

- ◆ OFF: BACKLIGHT の機能を OFF します。

- ◆ BLC: BLC を選択した場合、BLC エリアを設定することが出来ます。

1. レベル: 効果の度合いを、MIDDLE、HIGH、LOW より設定します。
2. エリア: 画面上で、BLC 機能を実行するエリアを設定します。(P10 参照)
3. 初期化: 設定を初期状態に戻します。
4. 戻る: この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。

- ◆ HSBLC

HSBLC(ハイライト抑制逆光補正) は設定されたエリア内で強い光を放つ部分にマスクをする事で、他の部分への影響を軽減させる事が出来ます。車のヘッドライトなど、強い光が画面内に入ってくる場所での撮影に有効です



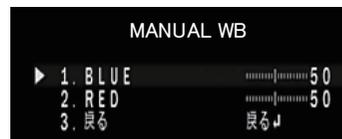
1. 選択：補正を行うエリアを選択します。エリアは、4ヶ所設定することが出来ます。選択されたエリアは、ゆっくり点滅します。
2. DISPLAY：ON、OFF
 - ON：選択されたエリアのHSBLC機能をONにします。
⑤ボタンで、エリアの設定を行います。設定方法は、P10を参照してください。
 - OFF：選択されたエリアのHSBLC機能をOFFにします。
3. BLACKMASK：ON、OFF
補正を行う部分に黒いマスクをかけるかを設定します。ONで黒いマスクが有効となります。
4. レベル：マスクをかける輝度レベルを設定します。設定値は、0～100で、設定した数値以上の輝度に対してマスクがかかります。
5. モード：ナイト、終日
補正を行う動作条件を設定します。ナイトは、ナイトモードのみ動作し、終日は一日中動作します。ナイトを選択し、⑤ボタンを押すと、AGCレベルを設定する事が出来ます。設定値は、0～255です。
6. 初期設定：設定を初期状態に戻します。
7. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



4. ホワイトバランス：ATW、AWC→セット、室内、室外、マニュアル、AWB

屋内や屋外、電球、夕日など、撮影場所の環境により色温度がそれぞれ異なり、肉眼で白色に見えてもカメラでは不自然な色で映る時があります。ホワイト・バランスは、それらを改善するために様々な環境下で、より白色に映るよう補正を行う機能です。

- ◆ ATW (オートトラッキング・ホワイト・バランス：自動追尾型)
カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温度を調整します。通常はこのモードを使用します。
- ◆ AWC →セット
白い被写体を画面全体に撮影した状態で⑤ボタンを押すと、その時点での最適なオート・ホワイト・バランスに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。
- ◆ 室内：色温度を室内用の設定に固定します。
- ◆ 室外：色温度を室外用の設定に固定します。
- ◆ マニュアル：手動で色温度を設定します。
 1. 青：青色の濃さの調整をします。値が大きいほど青みが強くなり、小さいほど黄色となります。設定値は0～100です。
 2. 赤：赤色の濃さの調整をします。値が大きいほど赤みが強くなり、小さいほど薄青色となります。設定値は0～100です。
 3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



- ◆ AWB (オート・ホワイト・バランス：自動調整型)
カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温度を調整します。ATWモードより補正範囲が広くなりますが、薄い色が白くなることがあります。

5. DAY&NIGHT：カラー、白/黒、EXT、オート

周囲条件を自動的に判断し、昼間はカラーカメラとして動作し(デイモード)、夜間では白黒カメラに切り替わり感度を上げて動作する(ナイトモード)ことが出来ます。

- ◆ カラー：周囲条件に関わらずデイモードに固定されます。
- ◆ 白/黒：周囲条件に関わらずナイトモードに固定されます。

1. パースト：映像出力のバースト信号をオン / オフします。モニタ画にカラーノイズなどがある場合、オフする事で見やすくなります。
2. IR SMART：赤外線 LED に対する見易さを変更します。ON にすると右下図のメニューが表示されます。
3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



IR SMART モードの設定

上記 2 で、IR SMART の設定を、ON にすると右図のメニューが表示されます。

1. レベル：赤外線 LED の照射に対する補正のゲインです。値が大きいかほど赤外線 LED の影響を抑えることができます。設定値は 0 ~ 15 です。
2. エリア：補正を行うエリアを設定します。設定方法は、(P10 参照)
3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



◆ EXT

外部よりデイとナイトモードを切り換えます。

※本機は EXT モードでは使用できません。

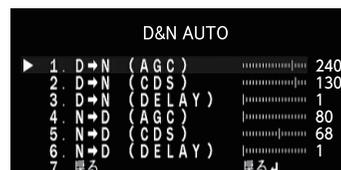
◆ オート

周囲の明るさの状態に応じて、カメラは自動的にデイとナイトモードを切り換えます。

1. D → N (AGC)：デイ→ナイトへの切り換える AGC のレベルを設定します。値が大きいかほど暗い状態で切り換わります。設定値は 1 ~ 255 です。
2. D → N (CDS)：デイ→ナイトへの切り換える CDS のレベルを設定します。値が大きいかほど暗い状態で切り換わります。設定値は 6 ~ 255 です。
3. D → N (DELAY)：デイ→ナイトの切り換え時間です。値が大きいかほど切り換え時間は長くなります。設定値は 0 ~ 60 です。
4. N → D (AGC)：ナイト→デイへの切り換える AGC のレベルを設定します。
5. N → D (CDS)：ナイト→デイへの切り換える CDS のレベルを設定します。
6. N → D (DELAY)：ナイト→デイの切り換え時間です。値が大きいかほど切り換え時間は長くなります。設定値は 0 ~ 60 です。

※ 誤動作を防ぐため、D → N (AGC) は、N → D (AGC) の値より大きい数値、D → N (CDS) は、N → D (CDS) の値より +6 以上の数値を設定してください。

7. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



6. NR：2DNR、3DNR

NR(ノイズリダクション)の設定が出来ます。映像に現れたノイズをデジタル処理により低減します。2DNR は一般的(平面的)な NR で、3DNR は 2DNR に加え、時間(動き)の処理を加えた NR となります。

1. 2DNR：2DNR の設定を、MIDDLE、HIGH、LOW、OFF より設定します。
2. 3DNR：3DNR の設定を、MIDDLE、HIGH、LOW、OFF より設定します。
3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。

7. スペシャル機能：CAM TITLE、D-EFFECT、動き検知、プライバシーマスク、言語、欠陥画素補正、RS485

動き検知やプライバシーマスク設定などその他の機能に関する設定です。

1. CAM TITLE : カメラの名前など表示に関する設定です。
2. D-EFFECT : 画像の反転などビデオエフェクトに関する設定です。
3. 動き検知 : 動き検知に関する設定です。
4. プライバシーマスク : プライバシーマスクに関する設定です。
5. 言語 : メニュー表示の言語に関する設定です。
6. 欠陥画素補正 : 画面上の欠陥画素の補正に関する設定です。
7. RS485 : 他機器と通信を行う場合の条件に関する設定です。
8. 戻る : この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



7-1. CAM TITLE : OFF、ON

カメラに、固有の名前を設定し、表示することができます。

- OFF : CAM TITLE は、使用しません。
- ON : CAM TITLE を使用する場合に設定します。
- ⑤ボタンを押すと、右図のメニューが表示します。表示したい文字を選択して
- ⑤ボタンを押して、CAM TITLE を作成します。選択された文字はゆっくり点滅しています。

操作ボタンの使い方

- ←→ : CAM TITLE で、追加や修正したい文字がある場合、その位置までカーソルを移動します。
- CLR : CAM TITLE を消去します。
- POS : CAM TITLE を表示する位置を設定します。POS を選択し、
 - ⑤ボタンを押すとカメラタイトル画面からカメラ画面になります。
 - ①②③④ボタンで CAM TITLE を表示したい位置を設定します。
 - ⑤ボタンを押すと、CAM TITLE 画面に戻ります。
- END : CAM TITLE を終了します。



7-2. D-EFFECT(デジタルエフェクト) : フリーズ、ミラー、NEG.IMAGE

ビデオ出力の反転などを設定します。

1. フリーズ : OFF、ON
ON にすると、ビデオ出力がフリーズ (静止) します。
2. ミラー : ミラー、V-FLIP、回転
ビデオ出力を水平、垂直に対して反転、または、回転して出力します。
ミラー : 左右反転、V-FLIP : 上下反転、回転 : 180 度回転
3. NEG. IMAGE : OFF、ON
ON にすると、写真フィルムの様に、ネガポジ反転します。
4. 戻る : この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



7-3. 動き検知 : OFF、ON

撮影画面内に動きがあった時に、その変化を検知する機能です。

※本機では、動き検知信号による外部機器制御には対応していません。

7-4. プライバシーマスク : OFF、ON

プライバシーマスク機能は、監視中指定されたエリアにマスクをかけることによりプライバシーを守ることができます。

プライバシーエリアは最大 4 つまで指定できます。

- OFF : プライバシーマスクは、使用しません。
- ON : プライバシーマスクを使用する場合に設定します。⑤ボタンを押すと、次ページのメニューが表示します。

1. 選択：エリア 1～4

設定を行うエリア (1～4) を ① ④ ボタンで選択します。選択されたエリアは、画面上点滅します。

2. DISPLAY：カラー、モザイク、インバータ、OFF

このエリアのプライバシーマスクのかけ方を設定します。

カラー：選択したエリア全体を指定された色で塗りつぶします。

モザイク：選択したエリア全体にモザイクをかけます。

インバータ：選択したエリア全体をネガポジ反転します。

OFF：選択したエリアは、プライバシーマスクは OFF します。

① ④ ボタンで選択後、⑤ ボタンを押すとエリアの設定画面になります。エリアの設定方法は、P10 を参照してください。

3. カラー：マスクの色を設定します。設定出来る色は、RED、BLUE、YELLOW、GREEN、CYAN、WHITE、BLACK、USER (※) です。

※本機では、USER での色の編集は出来ません。

4. トランス：プライバシーマスクの透過度を設定します。設定レベルは、1.00、0.75、0.50、0.25 です。

5. 初期設定：設定を初期状態に戻します。

6. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



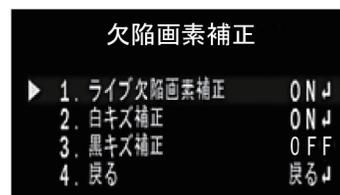
7-5. 言語

OSD 表示の言語の設定を行います。設定出来る言語は、JPN、HEB、ARB、ENG、CHN1、CHN2、GER、FRA、ITA、SPA、POL、RUS、POR、NED、TUR、KOR の 16 ケ国語です。① ④ ボタンで選択後、⑤ ボタンを押すと、OSD 表示が変更されます。

7-6. 欠陥画素補正：ライブ欠陥画素補正、白キズ補正、黒キズ補正

CMOS センサーで欠陥画素が発生すると、その部分の画像情報が欠落するため、白点または黒点のノイズが発生します。この問題に対応するため、発生した欠陥画素に対して最適な輝度値となる様、周辺画素の輝度情報から補正値を算出し補正をかけることで、白点または黒点ノイズの発生を軽減します。

⑤ ボタンを押すと、右図のメニューが表示します。



1. ライブ欠陥画素補正：OFF、ON

リアルタイムで、欠陥画素補正を行います。

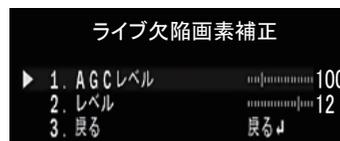
● OFF：ライブ欠陥画素補正を、使用しません。

● ON：ライブ欠陥画素補正を使用する場合に設定します。⑤ ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。

1. AGC レベル：AGC のレベルを設定します。設定値は、0～255 です。

2. レベル：補正をかけるレベルを設定します。設定値は、0～100 です。

3. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



2. 白キズ補正：OFF、ON

白点状のノイズ (白キズ) の補正について設定します。

● OFF：白キズ補正を、使用しません。

● ON：白キズ補正を使用する場合に設定します。⑤ ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。

1. POS/SIZE：白キズ補正を行うエリアを設定します。エリアの設定方法は、P10 を参照してください。

2. スタート：エリア、レベルの設定後、⑤ ボタンを押すと、「CLOSE THE IRIS THEN PRESS ENTER」と表示されますので、レンズキャップ等で光が入らない状態で、再度⑤ ボタンを押すと白キズ補正のための処理を行います。

3. DPC VIEW：OFF、ON

ON にすると、白キズの補正箇所が表示されます。

4. レベル：補正をかけるレベルを設定します。設定値は、0～100 です。

5. AGC レベル：AGC のレベルを設定します。設定値は、0～14 です。

6. SENS-UP：蓄積時間 (シャッター時間) を伸ばして被写体を明るくすることができる SENS-UP を設定します。

設定値は、x2、x4、x6、x8、x10、x15、x20、x25、x30 です。

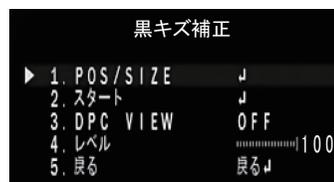
7. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



3. 黒キズ補正：OFF、ON

黒点状のノイズ（黒キズ）の補正について設定します。

- OFF：黒キズ補正を、使用しません。
 - ON：黒キズ補正を使用する場合に設定します。⑤ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。
1. POS/SIZE：黒キズ補正を行うエリアを設定します。エリアの設定方法は、P10を参照してください。
 2. スタート：エリア、レベルの設定後、レンズに光が充分入るまたは、白い紙などを撮影する事で、画面全体が白くなった状態で、⑤ボタンを押すと、黒キズ補正のための処理を行います。
 3. DPC VIEW：OFF、ON：ONにすると、黒キズの補正箇所が表示されます。
 4. レベル：補正をかけるレベルを設定します。設定値は、0～100です。
 5. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



7-7. RS485：CAM ID、ID DISPLAY、ポーレート

RS485はシリアル通信の規格の一つで、他機器と通信を行う場合の条件について設定します。 ※本機では、他の機器との通信には対応していません。

8. 調整：SHARPNESS、モニタ、レンズ沈み補正、ビデオアウト、COMET

接続するモニタやレンズなどに関する設定を行います。

1. SHARPNESS：モニタ画面の輪郭の強調に関する設定です。
 2. モニタ：接続するモニタに関する設定です。
 3. レンズ沈み補正：レンズ補正に関する設定です。
 4. ビデオアウト：ビデオ信号システムに関する設定です。
 5. COMET(※)：ビデオ信号モードに関する設定です。
 6. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。
- (※)：NTSCモードの時のみ表示され、有効となります。



8-1. SHARPNESS：OFF、オート

モニタ画面の輪郭を強調しシャープに見える補正を行います。画像によってはノイズが目立つ場合があります。

- OFF：モニタ画面の輪郭強調を行いません。
 - オート：モニタ画面の輪郭強調を行う場合に設定します。⑤ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。
1. レベル：輪郭強調のレベルを設定します。設定値は、0～10です。
 2. スタート AGC：輪郭強調を開始する AGC のレベルを設定します。設定値は、0～255です。※初期値は、AHD モード：120 NTSC モード：120
 3. END AGC：輪郭強調を終了する AGC のレベルを設定します。設定値は、0～255です。※初期値は、AHD モード：255 NTSC モード：255
 4. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



8-2. モニタ：LCD、CRT

接続するモニタの種類を LCD（液晶） また CRT（ブラウン管）より選択します。

- LCD（液晶）：⑤ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。
1. BLACK LEVEL：黒色の基準レベルを設定します。設定値は 0～60 です。 ※この設定は、NTSC モードの時のみ表示され、有効となります。



2. ガンマ：画面全体を見やすくするためのガンマ補正の値です。
設定値は、0.45、0.50、0.55、0.60、0.65、0.70、0.75、0.80、0.85、0.90、0.95、1.00、USER です。
※USER の値を編集することは出来ません。
3. BLUE GAIN：色の濃さの設定です。数値が大きい程、青みが強くなります。設定値は、0～100 です。
4. RED GAIN：色の濃さの設定です。数値が大きい程、赤みが強くなります。設定値は、0～100 です。
5. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。

● CRT (ブラウン管)：⑤ボタンを押すと、右図のメニューが表示されます。

1. BLACK LEVEL：黒色の基準レベルを設定します。設定値は0～60です。
※この設定は、NTSCモードの時のみ表示され、有効となります。
2. BLUE GAIN：色の濃さの設定です。数値が大きい程、青みが強くなります。
設定値は、0～100です。
3. RED GAIN：色の濃さの設定です。数値が大きい程、赤みが強くなります。
設定値は、0～100です。
4. 戻る：この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存&終了」で、設定値を保存し設定を終了します。



8-3. レンズ沈み補正：OFF、ON

レンズ沈み補正の有効 / 無効の設定を行います。
レンズ沈み補正は、レンズの中心部に比べて周辺部が暗くなるレンズ特性を補正します。

8-4. ビデオアウト：NTSC

ビデオ信号システムに関する設定です。 ※本機では NTSC の設定を変更しないでください。

8-5. COMET：OFF、ON

ビデオ信号モードに関する設定です。ビデオ信号出力に、COMET 信号を使用する場合に設定します。
※この設定は、NTSCモードの時のみ表示され、有効となります。

9. AF：AF MODE、ONE SHOT AF、TDN AF、LENS INIT

オートフォーカスの形態やレンズの初期化等を設定します。

9-1. AF MODE

オートフォーカスの形態を設定します。

- SEMI：ズームを行った際に自動でフォーカスを調整します。再度ズームするまでフォーカスはそのままとなります。
- AUTO：ズームを行った際に自動でフォーカスを調整しますが、AUTO モードはズームの有無に関わらず常にフォーカス調整を行います。
- MANUAL：フォーカス調整を手動で行います。

9-2. ONE SHOT AF

ONE SHOT AF メニューを選択した際に一度だけオートフォーカス機能が動作します。

9-3. TDN AF

デイナイトモード切替時のフォーカス調整に関する設定です。

- ON：TDN AF 機能を ON にします。ON にすることでデイナイトモード切替時に自動でフォーカス調整を行います。
- OFF：TDN AF 機能を OFF にします。電源投入時の AF も行いません。

9-4. LENS INIT

オートフォーカスレンズの初期化を行う設定です。LENS INIT メニューを選択することで、レンズ位置や動作の初期化を行います。

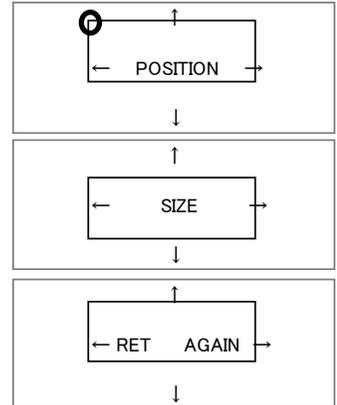
9-5. 戻る

この設定を終了します。「戻る」で、前のメニューに戻り、「保存 & 終了」で、設定値を保存し設定を終了します。

10. エリアの設定方法

BLC、HSBLC、IR SMART、プライバシーマスク、白キズ補正、黒キズ補正、DEFOG などの設定で、画面内のエリアを設定する場合の操作方法です。

1. エリアの項目で、⑤ボタンを押すと右図の様な、POSITION 設定画面になります。画面に現れる四角形の左上のポイントが、設定したいエリアの左上の位置となる様に、①②③④ボタンで設定します。
2. 位置が決定したら、⑤ボタンを押すと SIZE 設定画面となります。①②③④ボタンで設定したいエリアとなる様にサイズを調整します。
3. ⑤ボタンを押すと、「RET」「AGAIN」と表示されます。エリアの設定が問題がなければ、「RET」でエリアの設定は終了します。もう一度、設定をやり直す場合は、「AGAIN」を選択し、設定をやり直します。



11. UTC (同軸重畳制御) 機能

映像同軸ケーブルを通じてカメラの OSD メニューを操作できる機能です。

UTC 機能を搭載している弊社 DVR に接続することにより、録画機器からカメラの設定を変更することが出来ます。

◆ PTZ/UTC 操作画面に入るには

1. PTZ/UTC 操作画面に入るには、以下のような方法があります。
 - 弊社 DVR の前面パネルかリモコンの「PTZ」ボタンを押します。
 - メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします。
 - メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「カメラ PTZ」をクリックします。
2. ログイン画面が表示され、パスワードを入れると操作画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じです。
3. 表示されたコントロールパネルの「OSD 表示」をクリックします。

◆ PTZ/UTC 操作画面

OSD 表示カメラの OSD を DVR 画面に表示し、DVR 側でカメラのメニューを設定することができます。カメラ OSD モードの操作には、下記のボタンを使用します。

コントロールパネルのボタンの説明

-  初期化 : UTC コマンドの初期化。UTC 操作を行う際には必ず押してください。
-  : メニューの移動 / 設定値の変更
-  確定 : 下位メニューに入る / 項目の選択 / 決定

◆ PTZ/UTC 操作画面からのオートフォーカス使用方法

1. PTZ/UTC 操作画面に入る。
2. コントロールパネルの「初期化」ボタンを押します。ログイン方法は設定画面に入る時と同じです。
3. 表示されたコントロールパネルの「ズーム／フォーカス」をクリックします。

 を操作することでオートフォーカスの機能を使用することが可能です。

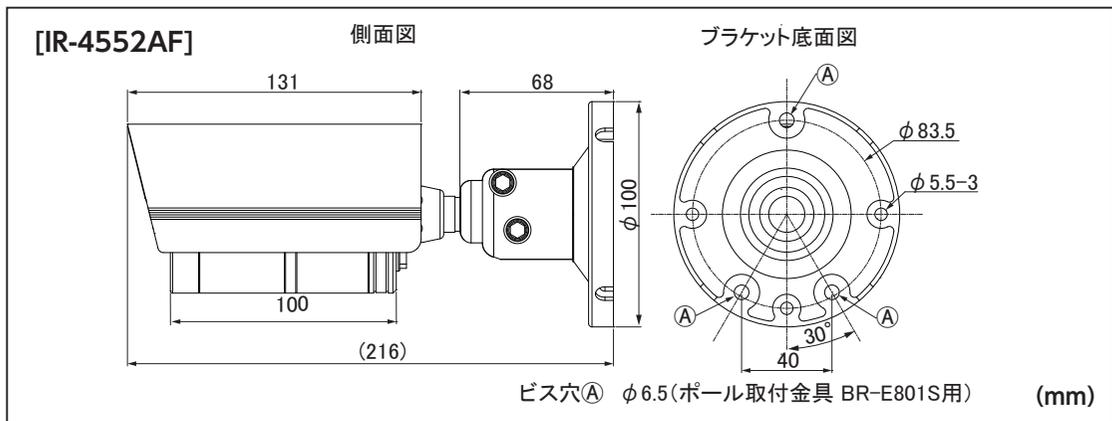
その他の UTC の操作方法につきましては、弊社 DVR の取扱説明書をご参照ください。

■ 工場初期値、工場出荷設定一覧

番号	機能	工場初期設定	出荷設定
1	レンズ モード⇒ MAX SHU.、IRIS SPEED	DC、 室外⇒ 1/10000、8	DC、 室外⇒ 1/10000、8
2-1	露出⇒シャッター AHDモード/NTSCモード	--- / ---	--- / ---
2-2	露出⇒AGC	15	15
2-3	露出⇒SENS-UP AHDモード/NTSCモード	オート(x8) / オート(x8)	オート(x8) / オート(x8)
2-4	露出⇒明るさ AHDモード/NTSCモード	36/47	36/47
2-5	露出⇒D-WDR	OFF	OFF
2-6	露出⇒DEFOG	OFF	OFF
3	BACKLIGHT	OFF	OFF
4	ホワイトバランス	ATW	ATW
5	DAY&NIGHT D⇒N (AGC)、D⇒N (CDS)、D⇒N (DELAY) N⇒D (AGC)、N⇒D (CDS)、N⇒D (DELAY)	オート 240/250、130、1、 80/90、50、1	オート 240/250、130、1、 80/90、50(調整値)、1
6	NR⇒2DNR、3DNR	LOW、MIDDLE	LOW、MIDDLE
7-1	スペシャル機能⇒CAM TITLE	OFF	OFF
7-2	スペシャル機能⇒D-EFFECT フリーズ、ミラー、NEG.IMAGE	OFF、OFF、OFF	OFF、OFF、OFF
7-3	スペシャル機能⇒動き検知	OFF	OFF
7-4	スペシャル機能⇒プライバシーマスク	OFF	OFF
7-5	スペシャル機能⇒言語	JPN	JPN
7-6	スペシャル機能⇒欠陥画素補正 ライブ欠陥画素補正、白キズ補正、黒キズ補正	ON、ON、OFF	ON、ON、OFF
7-7	スペシャル機能⇒RS485 CAM ID、ID DISPLAY、ボーレート	1、OFF、38400	1、OFF、38400
8-1	調整⇒SHARPNESS (AHDモード) レベル、スタートAGC、END AGC	オート 5、120、255	オート 5、120、255
8-1	調整⇒SHARPNESS (NTSCモード) レベル、スタートAGC、END AGC	オート 5、120、255	オート 5、120、255
8-2	調整⇒モニタ BLACK LEVEL(NTSCモードのみ)、ガンマ、 BLUE GAIN、RED GAIN	LCD 10、0.50、50、50	LCD 10、0.50、50、50
8-3	調整⇒レンズ沈み補正	OFF	OFF
8-4	調整⇒ビデオアウト	NTSC	NTSC
8-5	調整⇒COMET(NTSCモードのみ)	OFF	OFF
9-1	AF⇒AF MODE、TDN AF	SEMI、ON	SEMI、ON

■ 外形図

※ 本製品は改善のため規格、外観等を予告なしに変更することがあります。



■ 使用上のご注意

- 1 カメラ内部は絶対に分解、改造しないでください。
- 2 万一本機が故障した場合は、中を開けずにお買い上げ頂いた販売店へお送りください。
- 3 本製品は、防水型ではありませんので、水中で使用することはできません。
- 4 本製品をベンジン、シンナー、ガソリン等でふかないでください。変質、変色の原因となります。

■ お問い合わせ

商品の内容 商品購入関係 設置工事関係	等のお問合せ	技術問題に関する お問合せ	修理に関する お問合せ
首都圏営業所		セキュリティ事業部	サービス部
044-396-8127		044-396-0396	044-396-0395
info@daiwa-industry.co.jp		technical@daiwa-industry.co.jp	service@daiwa-industry.co.jp
<ul style="list-style-type: none"> ●お客様に最適な監視カメラシステムをご提案させていただきます。 ●現場調査を行い、設置工事費をお見積りさせていただきます。 ●平面図による設置工事費を概算でお見積りすることも可能です。 			<ul style="list-style-type: none"> ●修理のお問合せの際には、製品保証書をご用意ください。
お気軽にお問い合わせください。			



本社・企画営業本部

〒212-0058

神奈川県川崎市幸区鹿島田3-7-10 DAIWAビル

TEL.044-396-0396 FAX.044-396-2253

http://www.daiwa-industry.co.jp

首都圏営業所 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田3-7-10 DAIWAビル

TEL.044-396-8127 FAX.044-396-2253

関西営業所 〒559-0014 大阪府大阪市住之江区北島2-7-34

TEL 06-6683-2800 FAX 06-6683-2801

202008

きりとり

購入年月日		年 月 日	保 証 書	
型 式		IR-452AF		
お 客 様	ご住所	<ol style="list-style-type: none"> 1：保証期間はご購入日より2年です。 2：修理はご購入後の販売店で受付いたしますので保証書を添えてお出しください。なお、保証期間内でも、本保証書の提示がない場合や必要箇所の記入及び捺印のない場合、そのほか次のような場合の修理は有料となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・使用方法の誤り、または乱用による故障。 ・不当な修理、改造、分解掃除等による故障。 ・天災(落雷、火災)による故障及び損傷。 3：修理品の運賃等、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。 4：本器の故障のため生じた二次的な事故は保証いたしかねます。 5：本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 		
	お名前			
電話				
販売店	店名・住所			
		■本社サービス 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田3-7-10 DAIWAビル TEL.044-396-0395 FAX.044-396-2253		